

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月9日

【四半期会計期間】 第65期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 ヤマト・インダストリー株式会社

【英訳名】 YAMATO INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 杉 浦 大 助

【本店の所在の場所】 埼玉県川越市大字古谷上4 2 7 4 番地

【電話番号】 049(235)1234(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部統括 茂 木 久 男

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野三丁目9番1号

【電話番号】 03(3834)3111 (代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部経理管理グループ 中 島 浩 之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 第1四半期 連結累計期間	第65期 第1四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,455,159	3,424,197	16,044,393
経常損失() (千円)	51,196	64,453	147,915
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失() (千円)	54,838	61,672	306,716
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	174,510	38,914	447,196
純資産額 (千円)	2,170,681	1,873,266	1,897,969
総資産額 (千円)	8,442,257	7,887,279	8,324,554
1株当たり四半期(当期)純損失 () (円)	54.58	61.38	305.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	25.7	23.6	22.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に景気が緩やかに回復しておりますが、米中貿易摩擦の影響により世界景気の減速懸念や製造業の景況感の悪化などにより、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、前向きな投資戦略、新規事業への挑戦、国内外の体制を再整備し、合理化の実行による業績向上を目指してまいりました。

その結果、国内の売上は、堅調に推移しましたが、海外子会社の売上が減少したことにより、売上高は、34億24百万円（前年同四半期34億55百万円）の減収となり、利益面では、営業損失49百万円（前年同四半期損失53百万円）、経常損失64百万円（前年同四半期損失51百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円（前年同四半期損失54百万円）になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（合成樹脂成形関連事業）

国内の売上は、堅調に推移しましたが、海外子会社の売上が減少したことにより、売上高は、30億4百万円（前年同四半期30億11百万円）と減収になりました。利益面では、営業損失54百万円（前年同四半期損失54百万円）になりました。

（物流機器関連事業）

競合他社との価格競争が続く中、受注拡大に努め積極的な営業活動を展開してまいりましたが、売上高は、4億19百万円（前年同四半期4億43百万円）と減収になりました。利益面では、営業利益5百万円（前年同四半期利益1百万円）の増益になりました。

（資産の状況）

資産合計は78億87百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億37百万円減少しました。これは主に、現金及び預金1億22百万円減少、受取手形及び売掛金が2億77百万円減少したことによるものです。

（負債の状況）

負債合計は60億14百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億12百万円減少しました。これは主に、短期借入金1億18百万円減少、長期借入金1億48百万円減少したことによるものです。

（純資産の状況）

純資産合計は18億73百万円となり、前連結会計年度末と比べ24百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少61百万円、為替換算調整勘定の増加29百万円によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	2,296,000
計	2,296,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,017,179	1,017,179	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	1,017,179	1,017,179		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		1,017,179		927,623		785,132

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,003,500	10,035	
単元未満株式	普通株式 1,379		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	1,017,179		
総株主の議決権		10,035	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式92株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ヤマト・インダストリー 株式会社	埼玉県川越市大字古谷上 4 2 7 4 番地	12,300		12,300	1.22
計		12,300		12,300	1.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人不二会計事務所による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,506,735	1,384,573
受取手形及び売掛金	² 2,398,758	² 2,121,002
電子記録債権	² 577,437	² 572,184
商品及び製品	589,395	635,010
仕掛品	162,048	141,731
原材料及び貯蔵品	330,572	301,980
その他	128,329	116,746
流動資産合計	5,693,277	5,273,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,476	335,024
機械装置及び運搬具(純額)	507,787	530,615
土地	1,282,846	1,282,846
リース資産(純額)	107,183	90,830
建設仮勘定	6,547	-
その他(純額)	68,285	77,377
有形固定資産合計	2,317,126	2,316,695
無形固定資産		
のれん	73,610	64,409
その他	29,805	34,103
無形固定資産合計	103,416	98,512
投資その他の資産		
投資有価証券	47,423	46,990
その他	166,140	154,681
貸倒引当金	2,830	2,830
投資その他の資産合計	210,733	198,841
固定資産合計	2,631,277	2,614,049
資産合計	8,324,554	7,887,279
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 1,935,885	² 1,890,214
電子記録債務	² 326,171	² 272,380
短期借入金	1,576,536	³ 1,457,906
未払法人税等	29,491	9,174
賞与引当金	26,858	35,700
その他	436,681	416,674
流動負債合計	4,331,624	4,082,051
固定負債		
長期借入金	1,750,821	³ 1,602,438
退職給付に係る負債	173,441	168,214
その他	170,698	161,308
固定負債合計	2,094,961	1,931,961
負債合計	6,426,585	6,014,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	763,504	763,504
利益剰余金	180,648	118,975
自己株式	23,029	23,159
株主資本合計	1,848,747	1,786,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	915	1,990
繰延ヘッジ損益	105	3,261
為替換算調整勘定	39,930	69,173
退職給付に係る調整累計額	9,293	7,001
その他の包括利益累計額合計	48,201	70,922
非支配株主持分	1,019	15,399
純資産合計	1,897,969	1,873,266
負債純資産合計	8,324,554	7,887,279

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	3,455,159	3,424,197
売上原価	3,034,291	3,041,304
売上総利益	420,867	382,893
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	96,001	78,421
給料及び賞与	153,242	146,261
退職給付費用	16,819	8,701
その他	208,637	199,332
販売費及び一般管理費合計	474,700	432,717
営業損失()	53,833	49,824
営業外収益		
受取利息	1,324	1,899
受取配当金	111	110
為替差益	12,021	-
受取手数料	1,160	1,592
受取賃貸料	15	15
その他	2,069	3,165
営業外収益合計	16,702	6,782
営業外費用		
支払利息	12,461	14,401
為替差損	-	3,714
その他	1,605	3,295
営業外費用合計	14,066	21,411
経常損失()	51,196	64,453
特別利益		
特別損失		
固定資産売却損	-	571
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	571
税金等調整前四半期純損失()	51,196	65,024
法人税等	3,608	3,387
四半期純損失()	54,805	61,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	35
親会社株主に帰属する四半期純損失()	54,838	61,672

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失()	54,805	61,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	808	1,074
繰延ヘッジ損益	1,793	3,156
為替換算調整勘定	118,757	29,245
退職給付に係る調整額	1,932	2,291
その他の包括利益合計	119,705	22,723
四半期包括利益	174,510	38,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,436	38,952
非支配株主に係る四半期包括利益	73	38

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形割引高	130,976千円	139,850千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	4,639千円	14,428千円
電子記録債権	3,196千円	2,973千円
支払手形	163,255千円	127,959千円
電子記録債務	87,752千円	83,935千円

3 財務制限条項

前連結会計年度末に金銭消費貸借契約に係る財務制限条項に抵触しましたが、金融機関と財務制限条項の適用の免除及び金銭消費貸借契約の変更の交渉を行った結果、合意に達し、金融機関から書面にて期限の利益の喪失に関わる権利行使の適用の免除を受け、現在は財務制限条項への抵触は解消しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	69,916千円	64,142千円
のれんの償却額	9,201千円	9,201千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,011,744	443,415	3,455,159		3,455,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,181	13	38,194	38,194	
計	3,049,925	443,428	3,493,354	38,194	3,455,159
セグメント利益 又はセグメント損失()	54,835	1,002	53,833		53,833

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,004,790	419,407	3,424,197		3,424,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,659	861	20,521	20,521	
計	3,024,449	420,268	3,444,718	20,521	3,424,197
セグメント利益 又はセグメント損失()	54,928	5,103	49,824		49,824

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純損失()	54円58銭	61円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	54,838	61,672
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失()(千円)	54,838	61,672
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,004	1,004

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

ヤマト・インダストリー株式会社
取締役会 御中

監査法人 不二会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 栗田尚宜 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヤマト・インダストリー株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヤマト・インダストリー株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。